

研究会のご案内

第10回ストーカー問題研究会(7月7日開催)では、神戸大・立命館大の伊田広行さんから、DV防止法、ストーカー規制法の問題点、DV加害者プログラム・NOVOを運営する中での経験をご報告いただきました。第11回研究会を下記のように企画しております。どうぞお誘い合わせのうえご参加ください。

記

第11回 龍谷大学ストーカー問題研究会

「統計と相談記録からストーカー事案の対策を考
える」

●報告●島田貴仁さん●

(科学警察研究所)

●とき●2015年9月29日(火)18:00開始●

●ところ●龍谷大学深草キャンパス 矯正・保護総合センター 至心館1階●

逗子や長崎などで発生したストーカー事件によって、ストーカー対策が急がれています。しかし社会の関心は人命損失といった結果の重大性に集中しがちで、問題の鳥瞰的な理解は必ずしも容易ではありません。そこで今回は、科警研の島田先生から、ストーカー事案の統計データや相談記録の計量テキスト分析結果をもとに、ストーキングの行動的定義、リスク評価をめぐる問題、第三者の介入の困難性などの問題をお話いただき、実態の把握と対策についてディスカッションいたします。

●コメント●芝多修一さん(逗子ストーカー事件被害者遺族)●

講師の紹介 島田貴仁(しまだ たかひと)さん:

1996年大阪大学大学院人間科学研究科博士前期課程(行動学)修了,2005年カーネギーメロン大学公共政策・経営研究科(犯罪政策)修士課程修了。2011年より科学警察研究所犯罪予防研究室長。犯罪被害防止・削減のための研究を、加害者、被害者、状況、社会のそれぞれの観点から行っている。主著「犯罪と市民の心理学―犯罪リスクに社会はどうかかわるか―(北大路書房,2011年)」。

.....

主催:文科省科学研究費補助金研究(基盤研究B)「治療的司法論の理論的展望と日本的展開:当事者主義司法の脱構築に関する学融的研究」(石塚班)

共催:龍谷大学矯正・保護総合センター,

文科省科学研究費補助金新領域研究(研究領域提案型)法と人間科学「犯罪者・非行少年処遇における人間科学的知見の活用に関する総合的研究」(研究代表者・石塚伸一)性犯罪ユニット

問い合わせ 龍谷大学法科大学院 石塚伸一

E-mail: ishizuka@law.ryukoku.ac.jp